

令和6年度 学校経営構想

雲南市立海潮小学校

〇はじめに（学校経営の底に・・・）

命を大切にし、子どもたちの笑顔があふれる学校・明日も行きたくなる学校に！

- ・「奇跡の命と命が、奇跡的に出会っている！」
- ・「教育はかけがえのない命を輝かせる営みである！」

I. 学校教育目標

『 未来に向かって 命かがやく 笑顔あふれる うしおっ子の育成 』

II. めざす児童像

1. 未来に向かって（あたま）
＜自ら学ぶ意欲と態度を持ち、自分の夢に向かって確かな学力〈生きる力〉を身につける子ども＞
 - ・主体的に学ぼうとする意欲がある
 - ・新しい考えを生み出し、生活をより良くしようとする
2. 命かがやく（こころ）
＜自らより良い生き方を考えるとともに、思いやりのある心を持つ子ども＞
 - ・命を大切にする
 - ・相手の立場や気持ちを考えて行動し、差別や偏見を持たない
 - ・新しいことや興味のあることに積極的に挑戦し、最後までやり遂げる
→「体験」の引き出しをふやす
3. 笑顔あふれる（からだ）
＜たくましい心と体を持ち、ねばり強く取り組む子ども＞
 - ・笑顔で過ごす
 - ・気持ちよいあいさつと返事ができる
 - ・進んで体を動かしたり運動したりする

III. めざす教職員像

1. 人【子ども・保護者・地域・仲間】のために動ける（寄り添える・世話をやける）職員
2. わかりやすい授業（指導）を心がける職員
3. いつも笑顔を心がけ、自分自身を高めようとする職員
4. 過ちに素早く素直に対応できる職員

IV. 学校経営の基本方針（めざす学校像）

1. 命を大切にし、子どもたちが笑顔で安心・安全に過ごせる学校。
2. 子どもたちが、今しかできない経験を積めるよう職員一同知恵を出して取り組む学校。
3. 子どもの基礎的・基本的事項の習得を図り、自分の夢に向かって生きる力の育成に努める学校。
4. 職員の資質の向上と学校経営参画意欲の向上を図る学校。
5. 家庭や地域との信頼関係の構築と開かれた学校づくりに努める学校。

V. 学校経営の重点 (授業づくり): 勉強が楽しい 集団づくり: 仲間が好き 関係づくり: 会いたい人がいる)

1. 将来、予測困難な時代を生きる子どもたちに対話〈思いを伝え合う力〉を通して合意形成能力の基礎を育成
 - ①相手の話を相手の立場になってしっかり聞く
 - ②相手ができるように、自分の思いをしっかり伝える
 - ③お互いの考えのいいところを結び付け、新しい考えを作り出す

2. 子どもの命を大切に、一人ひとりの居場所がある学級経営・特別支援教育の推進
 - ①一人ひとりの存在が認められる学級づくり・集団作り (自己存在感、自己有用感)
 - ②特別支援教育 CN、教育相談 CN、生徒指導主任を中心とした校内支援体制の充実
 - ③いじめ・差別は絶対に許さない毅然とした指導
 - ・「いじめ防止基本方針」の活用とチームでの対応
 - ④問題の早期発見・早期対応 → 児童への日常的な目配り・気配り
危機管理の「さしすせそ」の徹底

3. 学力(生きる力) 育成をめざした質の高い学びの育成
 - ①喜びのある授業 → 楽しい授業 → わかりやすい授業 → わかる授業<<学び合う授業>>
 - ・理解できた喜び
 - ・習得できた(身についた) 喜び
 - ・発見できた喜び
 - ・友だちと協力できた喜び
 - ・ほめられた喜び
 - ②図書館活用教育の推進
 - ・読書センター機能はもとより、学習・情報センター機能の充実を目指す
 - ③家庭学習の習慣化・定着【→コツコツと根気強く取り組める姿勢を育てる】
 - ・大東中校区「家庭学習の手引き」等を活用し、各学年工夫して取り組む。

4. 「体づくり」を通じた健康教育の推進
 - ①「体力向上推進計画」をもとに、体づくりを目指した意図的、計画的な日々の取組
 - ②給食を食育教材の一つとして活用し、子どもが自分の食生活(好き嫌い・栄養素等)を見つめる機会とし、体づくりの一助とする。

5. 海潮・大東・雲南に愛着と誇りの持てるふるさと学習・キャリア教育の充実推進
 - ①地域の教育資源である「ひと・もの・こと」の積極的な活用
 - ふるさとと子どもたちが関わる多様な場の設定(地域との学び合い、体験学習等)
 - ②小中の学びを連携・接続し、学びの連続性に努める
 - ③ふるさとを知り、「『ふるさと』と『自分』」の未来につながるキャリア教育の推進

6. 信頼関係のある家庭・地域との連携
 - ①学校からの情報発信
 - ・学校だよりやHP、授業公開日、また、学級だよりや各分掌からのたより(保健室だより、生徒指導だより等)を通じて、学校の願いや子どもの姿などを積極的に伝える
 - ②保護者面談、家庭訪問、電話連絡等によるきめ細かな連携
 - ・日常的なあいさつ、声かけ等を大切にして、保護者と同じ目線で子どもと関わる
 - ③関係機関や地域との連携
 - ・学校運営協議会、東部ブロック校長会、海潮地区振興会など、地域の関係団体や関係機関との連携を密にする